

活動報告

団体名	Keiwa HOPE
活動名	若い力を被災地に。大学生による被災者寄り添い活動
活動期間	2018/08/27 ~ 2018/08/30
活動の成果	<p>豪雨災害後に広島県、岡山県において、ボランティア拠点を運営している、一般社団法人震災復興支援協会 つながり さまからの要請、受け入れにより、広島県三原市での現地活動に参加しました。</p> <p>活動に従事した学生 5 名全員が初めての現地活動であり、道具の名称を覚え、作業手順も 1 から教わりながらの活動となりました。主に、被災者宅での瓦礫撤去、泥だしなど肉体労働がメインとなりましたが、指導を忠実に聞き、精一杯活動に従事しました。</p> <p>学生たちは被災地の様子、雰囲気、災害復興の大変さ、活動を共にした他大学の学生、関東から 1 人で参加していた高校生、被災者でありながら夏期休暇中を拠点で過ごしながらボランティア活動を行う小学生の姿に大きな刺激を受け、自立についても考える機会となったようです。</p> <p>全日程 4 日間、内 2 日の活動という短い期間ではしたが、復興の一助となれたかとおもいます。私たちの活動は被害全体からみたら小さな 1 つかとおもいます。しかしながら、その“ちいさな 1 つ”の経験を大切に、新潟に帰郷後にもさまざまな方法で被災地の“いま”を伝える活動をしています。未来につながる、人材の育成にも大きな成果となりました。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>被災地でのボランティア活動に対し、あたたかいご理解、ご寄付を賜り誠にありがとうございます。</p> <p>新潟から被災地（広島県・岡山県）は遠く、活動計画を立案した際にも、「西のことは西にまかせてはどうか」との声をいただくこともありました。しかしながら、皆さまからのご寄付により、広島県三原市での活動にかかる費用の一部に対し、中央共同募金会を通じ助成を受けられたことにより、学生たちの「困っている人の力になりたい」の強い気持ちを現地に届けることができました。</p> <p>私たち、Keiwa HOPE (Keiwa for Helping Other PEople) は引き続き、助けを求める方々に寄り添い、新潟からできる、継続した支援を行ってまいります。この度は誠にありがとうございました。</p>

(活動のようす)

